

平成27年度 CITES 高度化事業に係る調査企画提案募集要項

一般社団法人日本皮革産業連合会（以下、皮産連という）では、上記事業の委託先選定のため、調査企画提案募集を以下のとおり行う。

1. 調査目的

国際的な経済環境の変化に対応し、爬虫類製革業界等の基盤強化に向けて、平成27年度の後半に研究開発及びそのための設備導入等の高度化対策事業の実施を行う予定。

そこで、本事業では平成27年度の前半に業界の現状や問題点、今後の取り組むべき方向性や高度化事業の内容等について調査を実施し、どのような取組が爬虫類製革業界等の経営の安定化及び健全な発展に寄与するかについて、検討並びに整理をする。

2. 調査内容

1) 調査方法

下記の調査方法等により実施する。

- ・業界関係者や専門家へのヒアリング調査
- ・現地調査
- ・参考文献調査
- ・各種統計資料調査
- ・高度化事業対策分科会との調整 など

2) 調査対象企業（現地調査）

爬虫類鞣し業者6社

（東京都墨田区3社、足立区1社、荒川区1社及び埼玉県草加市1社）

3) 調査事項

第1章 全体

国内外の爬虫類製革業界の状況等について、競争力強化の観点から調査を行い、その概要を取りまとめる

- ・国内外の爬虫類製革業界の状況等
- ・国内爬虫類製革業界が抱える問題点等

第2章 流通関係

原材料の確保（輸入）から、加工、製品化、国内流通、輸出等まで、その現状から、課題、今後の方向性等について調査を行い、整理をする。

① 現状

- ・海外の現状、市場動向、今後の方向性等

- ・国内の現状、市場動向等

②課題

原料皮等原材料の確保、品質の向上、人材の育成・確保、
流通構造、企業間連携、競争力の強化 など

第3章 革の生産・技術関係

革の加工（爬虫類革に係るタンナー）について、国内外の状況や課題等を整理すると共に、現地調査（国内）などを踏まえ、今後の取り組むべき方向性や高度化事業の内容、事業効果等について調査を行い、その内容を整理する。

① 現状

- ・海外の現状・・生産設備、技術水準、生産活動、今後の展開等
- ・国内の現状・・生産設備、技術水準、生産活動等

② 現地調査

- ・国内爬虫類鞣し業者の工場調査（6社）
- ・特徴、設備・生産状況、課題、研究テーマ等

③ 課題

- ・品質、技術、生産性、工程管理、人材の育成／確保、設備改善、商品開発 など

第4章 提案

①将来の爬虫類等製革業界のあり方及び方向性の提案

②取り組むべき方向性の提案

- ・品質や技術、生産性について
- ・人材の育成・確保について
- ・商品開発について
- ・設備の高度化、共同化について
- ・事業効果について など

③ 各事業者（タンナー）が取り組むべき事項について（複数提案）

- ・各社ごとに行うべき研究開発内容および設備導入の提案
- ・共同で行うべき研究開発内容および設備導入の提案
（各社ごと及び共同のどちらの場合も、主に技術開発、商品開発等に繋がる設備導入を予定）
- ・各社ごとおよび共同で行うべき研究開発及び設備導入の効果について

第5章 まとめ

3. 高度化対策事業分科会等

分科会の謝金の支払いを行う。分科会は、調査対象企業である爬虫類鞣し業者6

社、革販売業者、鞣しの専門家、皮産連等で構成する。また、ヒアリング先としては、鞣し業者、鞣しの専門家、革販売業者（原料の輸入・輸出含む）、薬品会社、機械会社、製品加工メーカー、製品販売関係者等、本事業実施に必要な先を予定している。

4. 委託業務の内容

- 1) 上記「2」の調査を行う。
- 2) 調査結果の内容について、高度化対策事業分科会等で報告する。
- 3) 上記「4. 1)～2)」を報告書にまとめる。

5. 企画提案の内容

- 1) 上記「1. 調査目的」及び「2. 調査内容」を踏まえ、具体的な調査企画についての提案
- 2) 上記「5. 1)」以外に企画・提案する事項
- 3) 実施体制（技術専門家を含む）と役割分担
なお、皮産連が推薦する「鞣しの専門家」の活用を含む。
- 4) 調査の進め方と調査スケジュール
- 5) 関連業務の実績

6. 期間（予定）

平成27年3月	委託先決定
4月～6月	調査
6月	中間報告および中間報告書の提出
7月	最終報告および最終報告書原稿の提出
8月	最終報告書の提出（最終報告書原稿修正後）

7. 予算額 6,000,000円（消費税含む）

8. 応募資格

- ・日本に拠点を有する法人で、本事業を行うために必要な能力、組織、人員、取引関係、経営基盤、技術基盤、資金力等を有すること。
- ・過去に類似調査の実績があること。
- ・複数社による提案の場合は、意思決定と運営に責任を持つ代表社を定めること。委託契約は代表社と締結し、委託費は、皮産連からその代表社へ支払う。
- ・必要な資料の提出や会議へ参加をすること。
- ・英語の文献等の調査が可能であること。
- ・本事業の企画提案募集に関する説明会に参加すること。

9. 契約の要件

1) 契約形態

委託契約とする。

2) 契約期間

平成27年4月1日(火)～12月25日(金)

3) 委託金の支払い

委託金の支払いは原則として委託業務終了後に確定検査を経て行うが、必要な場合は業務終了前に概算払いを認めることがある。

10. 応募手続き

1) 募集締切 平成27年2月25日(水) 17時(必着)

2) 応募書類(以下の①～③各10部を郵送または持参する。)

①企画提案書(様式は問わない。)

②見積書

皮産連が指定する鞣しの専門家(1名)に係る経費(謝金等)及び学識経験者委員(1名)の会議出席のための車賃(1回2,000円)も見積書に入れること。鞣しの専門家に係る謝金額は半日10,000円、1日20,000円(4時間を超える場合1日とする)とし、業務内容は、工場訪問、会議出席、技術的アドバイス、報告書確認等とする。

見積書作成にあたっては、消費税欄を設け、外税表記とし、一般管理費は事業費・人件費の10%以内とし、再委託費は一般管理費の対象外とする。委託先従業員の人件費を計上する場合は、役職と時間単価、委託業務予定時間を明記する。人件費の流用は認めない。海外送金にかかる手数料は事業費に盛り込んで構わないが、国内送金手数料は一般管理費から支出する。

③会社概要(別紙1参照。直近2年間分の財務諸表は各1部。)

④企業パンフレット2部

3) その他

①応募書類は日本語で作成し、見積書は日本円で積算する。

②応募書類は返却しない。

③企画提案書作成費用は支給しない。

④ヒアリング審査に参加する場合の費用(旅費等)は支給しない。

11. 審査(評価)方法等

1) 審査方法

提案について書類審査を行い、採択案件を決定する。なお、必要に応じてヒアリング審査または提案の詳細に関する追加資料の提出を要求することがある。

2) 審査基準

・上記「2. 調査内容」が全て提案されているか。

- ・調査目的との整合性がとれているか。
- ・調査の実施項目、実施手法が明確に示され、実現性、妥当性があるか。
- ・提案内容は経済性に優れているか。
- ・スケジュールは妥当か。
- ・運営体制は十分か。遂行能力はあるか。
- ・これまで実施した関連業務は評価出来るか。

12. スケジュール

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1) 質問の受付期限 (メール等) | 2月 4日 (水) 17時まで |
| 2) 募集締切 | 2月25日 (水) 17時まで |
| 3) 委託先決定 | 3月 4日 (水) |

※選定結果は、それぞれの該当者に通知する。なお、採否の理由に関する問合せには応じない。

13. 契約について

採択された企画提案を基礎として、契約条件について皮産連と採択された企業で調整の上で、契約を締結する。この過程で、事業内容、委託金額等に変更が生じる可能性がある。また、皮産連が必要とする条件に合致しない場合は、契約締結が出来ない可能性がある。

14. 支払額の確定方法

委託契約終了後、委託先から提出される実績報告書および領収書並びに見積書・請求書等の費用明細の分かる書類、海外支払いの場合には支払い時の為替レートの分かる書類等の証拠書類を審査し、確定する。

支払い額は、契約金額の範囲内であり実際に支出を要したと認められる費用の合計となる。

支出額および内容について厳格に審査し、これを満たさない経費は、支払額の対象外となる可能性がある。

15. 問い合わせ先および応募書類提出先

一般社団法人日本皮革産業連合会

〒111-0043 東京都台東区駒形 1-12-13 皮革健保会館 7階

TEL 03-3847-1451 fax 03-3847-1510

E-mail: robinson@jlia.or.jp

担当: ロビンソン、島岡、稲見